

◆ 渋沢・クローデル賞決まる

【パリ＝山田真也】日本とフランスに関する若手研究者の優れた研究や著作に贈られる「渋沢・クローデル賞」（日仏会館、仏国立社会科学高等研究学院日仏財団主催、仏国立日本研究所協力、渋沢栄一記念財団、帝京大、読売新聞社協賛、在仏日本大使館後援）の仏側の今年の審査結果が20日公表され、2作品が受賞作に選ばれた。

選出されたのは、パリ大学東洋言語文化学部准教授、セザール・カステルビ氏(35)の博士論文「日本の新聞記者と新聞社—変化する職業的モデルにおけるキャリアと仕事の社会学的分析」と、国立東洋言語文化学院付属フランス東アジア研究所研究員、エドゥアール・レリッソン氏(34)の博士論文「神道の軌道と日本の満洲の成立—宗教的な空間化、帝国の拡大、近代神道の成立」。

2021.

10.24(日)

読
売
朝
刊